

天童市建設工事検査規程

平成10年3月31日

訓令第7号

庁 中

出先機関

(趣旨)

第1条 この規程は、本市が発注する建設業法（昭和24年法律第100号）第2条第1項に規定する建設工事（以下「建設工事」という。）について、地方自治法（昭和22年法律第67号）第234条の2第1項の規定により行う検査（以下「検査」という。）に関し必要な事項を定めるものとする。

(検査の種類)

第2条 検査の種類は、完成検査、一部完成検査、出来形検査及び中間検査とする。

2 完成検査は、建設工事が完成した旨の届出があったときに行う。

3 一部完成検査は、建設工事の指定した部分が完成した旨の届出があったときに行う。

4 出来形検査は、建設工事の完成前に当該建設工事の既済部分について、受注者から契約による部分払の請求があったときに行う。

5 中間検査は、建設工事の施工中途において必要に応じて行う。

(検査員等)

第3条 検査を行う職員（以下「検査員」という。）は、本市の職員のうちから市長が任命する。

2 1件の当初設計金額が300万円を超える建設工事についての検査は、検査員のうちから総務部長が指名する者がこれを行うものとする。

3 前項の建設工事以外の建設工事の検査は、検査員のうちから建設工事を発注する担当課長が指名する者がこれを行うものとする。

4 市長は、特に必要があると認めるときは、天童市職員以外の者に検査を行わせることができる。

第4条 建設工事について地方自治法第234条の2第1項の規定により監督を命ぜられた職員（以下「監督職員」という。）は、当該建設工事について検査を行うことができない。

(検査の立会い)

第5条 検査員は、検査をするときは、受注者のほか、監督職員等を立ち合わせなければならない。この場合において、立会い者は検査員の指示に従わなければならない。

(検査の方法)

第6条 検査は、建設工事請負契約書、図面、仕様書その他の関係書類に基づき、市長が別に定めるところにより実地について行うものとする。

第7条 検査員は厳正に検査を行い、合格又は不合格の判定をするものとする。この場合において、合否の判定がし難い事項については、検査を命じた者に報告し、その指示を受けなければならない。

2 検査員は、必要があると認めた場合には、破壊その他の特殊な方法により出来形の適否を検査するものとする。ただし、破壊の方法による場合は、破壊の程度は必要最小限にとどめなければならない。

第8条 検査員は、検査上必要があると認めるときは、受注者又は関係職員に対して当該検査に関する書類及び記録その他の物件の提出又は説明を求めることができる。

2 検査員は、第6条の規定により別に定める基準に基づき、監督職員又は受注者に対し、設計、施工技術等について指導又は指示をすることができる。

(検査の報告)

第9条 検査員は、検査を終了したときは、当該建設工事の成績を評定し、速やかに市長に報告しなければならない。

(委任)

第10条 この規程に定めるもののほか、建設工事の検査に関し必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

(施行期日)

1 この訓令は、平成10年4月1日から施行する。

(天童市建設工事検査規程の廃止)

2 天童市建設工事検査規程（昭和48年市訓令第3号）は、廃止する。

(施工期日)

3 この訓令は令和2年4月1日から施行する。